

式 辞

やわらかな春の日差しを受け、校庭の花々も皆さんの入学を祝福するかのようにつき誇っています。今年度、城北高校は素晴らしい新入生を迎えました。そして本日、山鹿市長代理総務部長阿蘇品貴司様、熊本県議会議員本校同窓会会長瀧上陽一様、熊本県議会議員本校PTA会長早田順一様始め、多くの御来賓の御臨席を賜り、また保護者様の御参列の中、このように入學式を挙行出来ますことは城北高校にとりまして最上の喜びであります。心から感謝申し上げます。希望を胸に、この坂を上り、今、生き生きと目を輝かせた二百九名の新入生の皆さん。そして四十二名の看護専攻科新学生の皆さん入学おめでとう。また保護者様にも心からお祝い申し上げます。新入生の皆さん。皆さんは、創立五十年から百年へステップする城北高校の五十一年の扉を開けた生徒です。制服も一新し新しい歴史をつくる生徒です。今日から、一人一人の素晴らしい所を認め合

いながら、この城北高校で「人生の土台」をつくるのです。「人生の土台」とは、世の中のために、人のために役に立つ、社会に中で、人に何かを与えられる人間としての力をつけることです。それが高校で勉強する意味です。今、城北高校は、建学の精神「人間をつくる」を教育理念として、心を磨く教育を日々実践し素晴らしい校風をつくり出しています。この真面目が当たり前の本校で、「この坂を上げれば希望がある」と「自分のことより先ず人のことを思え」の精神を自分のものにしてもらいたいと希望します。 学校スローガン「この坂を上げれば希望がある」とは、人に何かを与えられる力をつけるため坂を上り、城北高校で自分を変える。自分が変われるところが城北高校であるの教えです。城北スピリッツ「自分のことより先ず人のことを思え」とは、美しいもの、美しいことに心を震わせる人間にしかない感性を磨き、人への思いやりを実践せよという教えです。

城北高校は、愛情溢れる先生方がどこにもまけない面倒見で君たちを満足させます。君たちを変えます。可能性を引き出します。あなたたちは、自ら学び、自ら考え、自分

の考えを表現できる力をつけ、夢に向かって人生の坂を上るといふ困難なことに立ち向かう努力をすることが大事になります。一生懸命に努力することが高校生活を楽しくさせます。「楽ではないが楽しい学校」にするのです。

専攻科新学生の皆さん、皆さんが目指す看護師という職業は、これからの社会を救う価値のある素晴らしい仕事です。本校の看護師専攻科には、世の中が、真に求めている看護師を生み出す先生たちがいます。先生たちを信じ博愛を実行する看護師を信念を持って目指してください。そして、志を実現する学生とは、こうあるべきだと高校生を憧れさせて下さい。心から期待し応援します。

保護者の皆様には、本校の教育を共有して頂き、どんなときでも子供に関心を持ち励まし見守り続ける応援団であってほしいと思います。私たち職員は、「これでもかの愛情」を持って教育に全力を尽くす覚悟です。学校との密接な連携をお願いします。

また、ご来賓の皆様には今後とも本校への御指導、御支援を心からお願い申し上げます。

結びに新入生の皆さん。城北高校生として心を磨く努力の日を一日一日みんなで認め合って励まし合って積み重ねていきましょう。この言葉を贈り式辞といたします。

平成三十年四月十日

学校法人松浦学園

城北高等学校長 竹原英治